

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4171000120		
法人名	大和リビングケア株式会社		
事業所名	グループホーム紀水苑やま・かわ		
所在地	佐賀市東与賀大字飯盛224-2		
自己評価作成日	令和2年2月19日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和2年3月11日	外部評価確定日	令和2年4月16日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>地域の中で健やかで、心豊かに、自分らしくを理念として、できるだけ家庭に近い環境で安心して暮らして頂けるよう努めています。また、入居者様の能力に応じ、毎日の家事等を分担しながら自立した生活を目指しています。花壇の水やりや家事等一緒に行っていくことにより、日常生活自体が、リハビリになり、より認知症の進行を遅らせることができている。少しでも入居者様のできることを見つけ出し、入居者本位を基本に、出来ることは自分で行えるよう支援をしています。日常の時間や季節感を実感して頂くための関わりや季節ごとの行事や外出を行い、地域での暮らしを実感して頂くよう支援しています。また、毎月の誕生会やイベントを行い、やま棟、かわ棟の皆さんが触れ合える時間を持ち、いつもと違った楽しみや笑いを多く持てるように努めています。地域でのイベントやカフェに外出したり地域社会との触れ合いも大切にしております。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>佐賀平野の自然豊かなところに施設はある。地域の中で健やかで、心豊かに、自分らしくを理念として、利用者の尊厳を大切にしている。目標は利用者それぞれのできる力に応じてできることをしてもらうこと。普段の生活の中でも台所で食事の後片付けや日当たりの良い場所に出て洗濯物を干したり、また敷地内にある売店や、パン屋さん、カフェに出かけることもある。そのほかにも毎月の誕生会や毎年恒例の夏祭りなど利用者が笑顔で暮らせる毎日を大切にしている。令和2年1月1日経営者は大和リビングケア株式会社が変わったが平成12年4月から培ってきたものは今も引き継がれている。</p>
--

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	苑内の目につく場所に理念を掲示し職員全員で共有している。また家庭的な環境づくりに取り組み、理念に沿ったケアの取り組みを日々心がけよう努力している。	苑内の目につく場所に理念を掲示し職員全員で共有している。また家庭的な環境づくりに取り組み、理念に沿ったケアの取り組みを日々心がけよう努力している。	毎年理念に沿った具体的な運営計画を作成している。目につくところに掲示し、実践に繋げている。年度末には評価を行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内の回覧板を回してもらい、地域の情報を把握出来ているがなかなか外出までは繋がっていない。紀水苑夏祭りでは地域の方々がたくさん来られ、グループホームも参加し交流している。	町内の回覧板を回してもらい、地域の情報を把握出来ているがなかなか外出までは繋がっていない。紀水苑夏祭りでは地域の方々がたくさん来られ、グループホームも参加し交流している。	自治会に加入している。回覧板で地域の情報を得ている。職員の1/3は地域在住者である。イベントなどへの参加には繋がっていないが、紀水苑夏祭りには地域からの参加も多く、交流を楽しんでいる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地区の自治会長・民生委員・家族様・見学・相談者様に、認知症の理解をして頂くために疾患や症状等の情報を提供し理解を深めて頂くよう努めている。ご家族より認知症の相談を受けたりしている。	地区の自治会長・民生委員・家族様・見学・相談者様に、認知症の理解をして頂くために疾患や症状等の情報を提供し理解を深めて頂くよう努めている。ご家族より認知症の相談を受けたりしている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回開催し、地区の自治会長・民生委員・家族の代表・地域包括支援センターの方々に参加いただき、サービスの実際を報告し情報や意見交換を行っている。また、防災訓練や敬老会等の行事にも参加していただき、意見・評価・助言を受けながら運営やサービスの改善に努めている。	運営推進会議は2か月に2回開催し、地区の自治会長・民生委員・家族の代表・地域包括支援センターの方々に参加いただき、サービスの実際を報告し情報や意見交換を行っている。また、防災訓練や敬老会等の行事にも参加していただき、意見・評価・助言を受けながら運営やサービスの改善に努めている。	会議は入所者の状況報告だけでなく、認知症、身体拘束など介護施設として関係者で話し合う機会としている。できるだけ多くの意見が聞けるよう努めている。地区の消防団員の参加も模索中である。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域包括支援センターの担当者の方には毎回運営推進会議に出席していただいております。意見や評価を受けています。入居状況や毎月の行事等報告し、入居の紹介を受けたりしています。	地域包括支援センターの担当者の方には毎回運営推進会議に出席していただいております。意見や評価を受けています。入居状況や毎月の行事等報告し、入居の紹介を受けたりしています。	地域包括支援センターの担当者とは顔の見える関係を築いており、何でも相談している。地域包括支援センター主催の認知症カフェには入居者の社会参加の機会ととらえできるだけ参加している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部での高齢者虐待・身体拘束防止研修会に参加したり、苑内では入社時及び年2回の研修会を実施し、拘束しないケアに取り組んでいる。入居者の方が自由に苑内を移動できるようにしており施錠しないケアに努めている。また拘束しないケアの掲示を苑内にし職員が常に意識するようにしている。	外部での高齢者虐待・身体拘束防止研修会に参加したり、苑内では入社時及び年2回の研修会を実施し、拘束しないケアに取り組んでいる。入居者の方が自由に苑内を移動できるようにしており施錠しないケアに努めている。また拘束しないケアの掲示を苑内にし職員が常に意識するようにしている。	高齢者の権利擁護や身体拘束に関する勉強会を事業所の中で実施している。実際のケアを振り返り話し合う機会を作っている。拘束のないケアを実践している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部での研修会に参加したり、苑内では定期的に勉強会も実施し、職員に虐待防止の徹底を行っている。苑内にも掲示し常に意識したケアに努めている。	外部での研修会に参加したり、苑内では定期的に勉強会も実施し、職員に虐待防止の徹底を行っている。苑内にも掲示し常に意識したケアに努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	高齢者虐待防止と共に権利擁護に関する研修会を年2回受けている。	高齢者虐待防止と共に権利擁護に関する研修会を年2回受けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	ご家族に十分な内容説明を行い、理解・納得していただいたうえで書面にて、契約・解除・改訂等の手続きを行っている。また、改善があった場合も内容説明し書面にて承諾をもらっている。	ご家族に十分な内容説明を行い、理解・納得していただいたうえで書面にて、契約・解除・改訂等の手続きを行っている。また、改善があった場合も内容説明し書面にて承諾をもらっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者の方々の声はいつでも聴き、運営に反映させている。またご家族の意見・要望は来苑時に聞いたり、家族会や介護計画書の説明時にも必ず伺うようにし、運営やケアの改善に努めている。	入居者の方々の声はいつでも聴き、運営に反映させている。またご家族の意見・要望は来苑時に聞いたり、家族会や介護計画書の説明時にも必ず伺うようにし、運営やケアの改善に努めている。	意見や苦情は事業所にとって大切な宝ととらえ、日々の面会時や介護計画書の説明時など家族から得られた意見などをサービスに反映させている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員のミーティングを開催し、定期的な発言の場を設けている。また意見・提案等あれば随時出すよう声をかけている。意見・提案には早急に対応、反映するように取り組んでいる。	職員のミーティングを開催し、定期的な発言の場を設けている。また意見・提案等あれば随時出すよう声をかけている。意見・提案には早急に対応、反映するように取り組んでいる。	管理者は日頃から職員の要望や意見を聞くように心がけている。職員が共有する申し送りノートを活用している。半年に1回個別に面談し、相談を受けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員個々の貢献度、勤務状況等に関する自己評価・上司評価・上司との面接を年2回実施し、評価に応じた賞与・昇給等に反映している。パート職員に対しても年2回、上司評価を実施し昇給に反映している。また、勤務や休暇の希望等に対応できるよう体制の整備に努めている。	職員個々の貢献度、勤務状況等に関する自己評価・上司評価・上司との面接を年2回実施し、評価に応じた賞与・昇給等に反映している。パート職員に対しても年2回、上司評価を実施し昇給に反映している。また、勤務や休暇の希望等に対応できるよう体制の整備に努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	内部の研修会だけでなく、キャリアパス基準に基づき、積極的に職位研修に参加してもらっている。また、毎月の研修会を現場で実践できるように取り組んでいる。現場での機会教育も実施している。	内部の研修会だけでなく、キャリアパス基準に基づき、積極的に職位研修に参加してもらっている。また、毎月の研修会を現場で実践できるように取り組んでいる。現場での機会教育も実施している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームとの勉強会を実施している。また、年1回交流研修として、1日他のグループホームで勤務し、情報交換の場を作り、サービスの内容や質を見直すきっかけとなっている。	他のグループホームとの勉強会を実施している。また、年1回交流研修として、1日他のグループホームで勤務し、情報交換の場を作り、サービスの内容や質を見直すきっかけとなっている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に必ずご本人に面会し、ご本人の気持ちを受容し、共感しながら困っていること・不安なこと・要望等を聞き、日課等継続できることは続けていけるように努めている。	入居前に必ずご本人に面会し、ご本人の気持ちを受容し、共感しながら困っていること・不安なこと・要望等を聞き、日課等継続できることは続けていけるように努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に必ずご家族に面会し、ご家族の困っていること、大変なことについて話を聞き、精神的に安心して貰える関わりに努め、希望や要望を受け止め、可能な限りできる対応で信頼していただけるように努めている。	入居前に必ずご家族に面会し、ご家族の困っていること、大変なことについて話を聞き、精神的に安心して貰える関わりに努め、希望や要望を受け止め、可能な限りできる対応で信頼していただけるように努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人・家族の要望を聞き、本人の状況を把握し、必要なサービスについて家族と話し合い同意を得ている。訪問診療や薬剤管理、他のサービス利用についても説明し希望に応じ対応している。	本人・家族の要望を聞き、本人の状況を把握し、必要なサービスについて家族と話し合い同意を得ている。訪問診療や薬剤管理、他のサービス利用についても説明し希望に応じ対応している。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人が得意なこと、できることや希望を把握し、同居者との関係作りに努め、自発性を引き出してもらえよう協力の声かけを行っている。各自が役割を持って意欲的に、共同生活が過ごせるように取り組んでいる。手伝っていただいたことには感謝の言葉を述べて共同の関係作りをしている。	本人が得意なこと、できることや希望を把握し、同居者との関係作りに努め、自発性を引き出してもらえよう協力の声かけを行っている。各自が役割を持って意欲的に、共同生活が過ごせるように取り組んでいる。手伝っていただいたことには感謝の言葉を述べて共同の関係作りをしている。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	自由に来苑できるように時間の制限は作らず、いつでも気軽に立ち寄れるような雰囲気作りをしている。体調の悪い時や状況によっては希望で自室に泊まることもでき、ご本人とご家族と過ごせる場作りをし、話し合いの機会を持ち、意見や要望を聞いて取り組みに反映している。	自由に来苑できるように時間の制限は作らず、いつでも気軽に立ち寄れるような雰囲気作りをしている。体調の悪い時や状況によっては希望で自室に泊まることもでき、ご本人とご家族と過ごせる場作りをし、話し合いの機会を持ち、意見や要望を聞いて取り組みに反映している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族・親戚・友人・知人の方がいつでも気軽に面会に来てもらえるよう声をかけている。面会時に本人との関係を知り、ご本人が喜ばれていることを伝え、面会の継続をお願いしている、また、ご家族との外出も自由にでき、外食や法事、お墓参り等行かれ自宅で昼食を摂られる方もいる。	家族・親戚・友人・知人の方がいつでも気軽に面会に来てもらえるよう声をかけている。面会時に本人との関係を知り、ご本人が喜ばれていることを伝え、面会の継続をお願いしている、また、ご家族との外出も自由にでき、外食や法事、お墓参り等行かれ自宅で昼食を摂られる方もいる。	家族と一緒に昔から利用している美容院にパーマ、ヘアカラーに出かけている利用者、お彼岸にはお墓参りに出かけられる利用者が居られる。一人ひとりの生活習慣を大事にしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を充分に把握し、座る場所や一緒に会話し利用者同士が関わりを深められるように工夫を行い、孤立しないよう支援している。	利用者同士の関係を充分に把握し、座る場所や一緒に会話し利用者同士が関わりを深められるように工夫を行い、孤立しないよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	医療入院者経過把握と、死亡されたケースは、お悔やみや初盆のお花を送っている。また、電話連絡により家族の思いを聞き支援している。	医療入院者経過把握と、死亡されたケースは、お悔やみや初盆のお花を送っている。また、電話連絡により家族の思いを聞き支援している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご家族からの情報やご本人と話をし少しでも希望・要望が把握できる工夫をしている。意思表示の出来る方、出来ない方、各自の希望や思いをうけとめられるように、話し合いの場で共有し本人本位の実現に向け努力している。	ご家族からの情報やご本人と話をし少しでも希望・要望が把握できる工夫をしている。意思表示の出来る方、出来ない方、各自の希望や思いをうけとめられるように、話し合いの場で共有し本人本位の実現に向け努力している。	日々の関わりの中で、言葉や表情などからその真意を推し測ったり、家族への聞き取りで確認するようにしている。その人らしい暮らしに寄り添っている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に生活歴や一日の過ごし方、生活環境や趣味等行っていたことを教えていただき、ご本人の意向に沿うことが出来るように努めている。全職員が情報を共有しご本人主体の生活ができるよう支援している。	入居前に生活歴や一日の過ごし方、生活環境や趣味等行っていたことを教えていただき、ご本人の意向に沿うことが出来るように努めている。全職員が情報を共有しご本人主体の生活ができるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で、できること、できないことを見極め、できることはしていただき、更に本人の能力や可能性をみつけ、できることが増えるように職員で情報を共有し支援に努めている。	日々の関わりの中で、できること、できないことを見極め、できることはしていただき、更に本人の能力や可能性をみつけ、できることが増えるように職員で情報を共有し支援に努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	入居者の方の身体的、精神的状況の把握、家族の希望・要望を聞き課題分析し、本人・家族の意向が反映されるように、チームで話し合いながら介護計画を作成している。モニタリングを行い次の計画に生かしている。入院や状態の変化に応じその都度計画の見直しを行っている。計画は本人・家族の同意をもらい全員で共有している。	入居者の方の身体的、精神的状況の把握、家族の希望・要望を聞き課題分析し、本人・家族の意向が反映されるように、チームで話し合いながら介護計画を作成している。モニタリングを行い次の計画に生かしている。入院や状態の変化に応じその都度計画の見直しを行っている。計画は本人・家族の同意をもらい全員で共有している。	日頃の関わりの中で、思いや意見を聞き、反映させるようにしている。担当職員を中心に看護職員、ケアマネ、家族など関係者で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。身体状態の変化だけではなく多面的な視点でのアセスメントをこころがけている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	各自のバイタル・食事・水分量・排泄・運動レク・外出や体調の変化等、日々の様子を毎日経過記録に記載し、変化や気づきを職員間で共有できるようにしている。改善すべき点や本人の状況に応じ介護計画の見直しをしている。	各自のバイタル・食事・水分量・排泄・運動レク・外出や体調の変化等、日々の様子を毎日経過記録に記載し、変化や気づきを職員間で共有できるようにしている。改善すべき点や本人の状況に応じ介護計画の見直しをしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	日々の生活の中で利用者のニーズを聞き出して散髪やカラオケをしたり、家族の状況に合わせてニーズに柔軟に対応できるように努めている。	日々の生活の中で利用者のニーズを聞き出して散髪やカラオケをしたり、家族の状況に合わせてニーズに柔軟に対応できるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の中学校の慰問や看護学生の実習を受け入れ、関わりを通じていつもと違った面が見られたり、面会時の小さなお子様家族へ交流をお願いし喜びを感じ取って頂いている。	地域の中学校の慰問や看護学生の実習を受け入れ、関わりを通じていつもと違った面が見られたり、面会時の小さなお子様家族へ交流をお願いし喜びを感じ取って頂いている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族との話し合いを行い、本人にとって適切な医療が受けられるように支援している。かかりつけ医の定期的な訪問診療を受けたり、緊急時や体調の変化に応じ、その都度受診や相談・助言を受けている。本人の状態に応じ、専門医等の受診・訪問診療を家族と相談しながら行っている。	家族との話し合いを行い、本人にとって適切な医療が受けられるように支援している。かかりつけ医の定期的な訪問診療を受けたり、緊急時や体調の変化に応じ、その都度受診や相談・助言を受けている。本人の状態に応じ、専門医等の受診・訪問診療を家族と相談しながら行っている。	入居時に、本人が馴染みの医師による継続的な医療が受けられることを説明している。協力病院からの往診、24時間医療との連携は本人や家族の安心に繋がっている。受診は家族の付き添いを基本としているが、不可能な時には職員が代行するようにしている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化に対し、看護師に報告、連絡相談を行い指示を受けたり、直接対応してもらっている。症状に応じ、かかりつけ医への相談・調整等もしてもらっている。看護師による健康チェックを実施している。	体調の変化に対し、看護師に報告、連絡相談を行い指示を受けたり、直接対応してもらっている。症状に応じ、かかりつけ医への相談・調整等もしてもらっている。看護師による健康チェックを実施している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は情報提供をし、入院中は定期的に面会すると共に家族や医療関係者から情報をもらっている。退院時には病院より情報をもらい退院時カンファレンスにも参加している。	入院時は情報提供をし、入院中は定期的に面会すると共に家族や医療関係者から情報をもらっている。退院時には病院より情報をもらい退院時カンファレンスにも参加している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にターミナルの指針についても文章をもって家族に説明している。また、入居者の方が重度化された時には、家族と話し合い、意向や希望を確認しながら、医療機関との連携をとり、チームで支援するよう取り組んでいる。	入居時にターミナルの指針についても文章をもって家族に説明している。また、入居者の方が重度化された時には、家族と話し合い、意向や希望を確認しながら、医療機関との連携をとり、チームで支援するよう取り組んでいる。	終末期における看取りの介護指針は入居時に家族に説明している。協力病院との医療連携は家族、職員の大きな安心となっている。終末期に揺れる家族の思いに寄り添いながら、状況に応じた話し合いを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎年、消防署主催の救命救急講習を受講している。また急変時や事故発生時等の連絡体制を掲示し、勉強会も実施している。	毎年、消防署主催の救命救急講習を受講している。また急変時や事故発生時等の連絡体制を掲示し、勉強会も実施している。	/	/
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年二回夜間を想定した避難訓練を実施し、通報訓練、消火訓練、緊急連絡連絡先の確認を行い、自治会や家族の方にも参加を呼びかけ評価や提案、指導を受け改善に取り組んでいる	年二回夜間を想定した避難訓練を実施し、通報訓練、緊急連絡連絡先の確認を行い、自治会や家族の方にも参加を呼びかけ評価や提案、指導を受け改善に取り組んでいる	利用者と職員全員が訓練には参加する。同敷地内の職員の応援もある。全員避難終了に11分から13分だった。反省を踏まえ部屋のネームプレートには護送の形態を表示したり、コンセントの埃の掃除は定期的に行っている。避難場所については家族へも伝達されている。	近年大きな自然災害が起きています。さまざまな災害を想定した訓練が求められます。マニュアルの見直しや地域の協力体制の見直しなど安全に向けた取り組みを期待します。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格の尊重やプライバシー保護の研修会を行っており、入居者の一人一人に合った対応に心がけ、人格を損ねないようケアを行っている。	人格の尊重やプライバシー保護の研修会を行っており、入居者の一人一人に合った対応に心がけ、人格を損ねないようケアを行っている。	管理者は目上の人に対する敬意の気持ちを持って接することを勉強会や日々のケアの中で随時指導助言している。利用者が慣れ親しんだ方言も大事にしている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の各場面において、本人が選択できるような言葉かけに努めており、衣類を選んでもらったり、歌やレクリエーションの内容を決めてもらったりと、自由に希望を言ってもらえるよう配慮している。	日常生活の各場面において、本人が選択できるような言葉かけに努めており、衣類を選んでもらったり、歌やレクリエーションの内容を決めてもらったりと、自由に希望を言ってもらえるよう配慮している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本の一日の流れはあるものの、ホールや自室、またソファでの休息等、個々の希望に沿った生活の支援をしている。	基本の一日の流れはあるものの、ホールや自室、またソファでの休息等、個々の希望に沿った生活の支援をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	二か月に一回、美容師の方に散髪に来苑していただきその方に合った髪形にしてもらっている。本人の希望を聞き洋服選びやひげそり・爪切り等の支援をしている。	二か月に一回、美容師の方に散髪に来苑していただきその方に合った髪形にしてもらっている。本人の希望を聞き洋服選びやひげそり・爪切り等の支援をしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は入居者・職員が同じテーブルを囲み家族のような雰囲気を作りをして楽しんで食事が出来ている。個々の力を把握し片付けや準備を行っている	食事は入居者・職員が同じテーブルを囲み家族のような雰囲気を作りをして楽しんで食事が出来ている。個々の力を把握し片付けや準備を行っている	入所者と職員が同じ食卓を囲んで同じものを食している。希望に沿って部屋食を対応することもある。食後の後片付けは個々の力を活かしながら職員と一緒にやっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一日の水分量と摂取量を把握できるように記録している。粥食やミキサー食・刻み食等個々に応じた食事を用意している。出来るだけ自分で食べられるように声かけをしたり一部介助を行い、必要量の確保はできるよう支援している	一日の水分量と摂取量を把握できるように記録している。粥食やミキサー食・刻み食等個々に応じた食事を用意している。出来るだけ自分で食べられるように声かけをしたり一部介助を行い、必要量の確保はできるよう支援している		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、一人一人に口腔ケアを呼び掛けている。夜間は義歯を預かり義歯洗浄剤にて洗浄している。口腔ケアの出来る方には自分でしてもらい必要に応じて介助、舌磨きの支援もしている。また訪問歯科診療で個別のケアの指導をうけている。	毎食後、一人一人に口腔ケアを呼び掛けている。夜間は義歯を預かり義歯洗浄剤にて洗浄している。口腔ケアの出来る方には自分でしてもらい必要に応じて介助、舌磨きの支援もしている。また訪問歯科診療で個別のケアの指導をうけている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一人一人の排泄状況を記録し、排尿間隔をみて声掛けや誘導を行い、可能な限りトイレでの排泄を支援し失禁を減らしたり、訴えができない方の様子をみてトイレ誘導し自立に向けての取り組みを行っている。	一人一人の排泄状況を記録し、排尿間隔をみて声掛けや誘導を行い、可能な限りトイレでの排泄を支援し失禁を減らしたり、訴えができない方の様子をみてトイレ誘導し自立に向けての取り組みを行っている。	排泄チェック表を使用し、時間を見計らって誘導している。あからさまな誘導ではなく、さりげない声かけをこころがけている。夜間は睡眠の確保を配慮して紙おむつ使用するなど個々人に合った対応を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘予防に水分摂取や体操等に取り組んでいる。排便状態を記録し、看護師へ相談、助言を受け早めの対応ができるように努めている。	便秘予防に水分摂取や体操等に取り組んでいる。排便状態を記録し、看護師へ相談、助言を受け早めの対応ができるように努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的に2～3日に一回の入浴である。曜日や時間帯はある程度決まっているが、その方々に応じて対応している。入浴を嫌がられる方には時間を空け再度、声掛けしたら、午後の試みたりしている。希望によりシャワー浴、清拭対応する等配慮している。体調が悪い方は状態をみて全身清拭、更衣の支援をしている。	基本的に2～4日に一回の入浴である。曜日や時間帯はある程度決まっているが、その方々に応じて対応している。入浴を嫌がられる方には時間を空け再度、声掛けしたら、午後の試みたりしている。希望によりシャワー浴、清拭対応する等配慮している。体調が悪い方は状態をみて全身清拭、更衣の支援をしている。	1日に3人程度として、くつろいだ気分で入浴できるように配慮している。入浴を拒む人に対しては無理強いせず、清拭や衣服の交換で対応している。水道水ではなく井戸水を使っている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	各部屋に室温・湿度計を設置し、濡れタオルを干すなど乾燥に注意している。暖房器具、照明、寝具の清潔にも気を配っている。寝具類は週一回(汚れた時はその都度)交換している。昼間でも希望があれば自室にて休んでいただいたり就寝時間も決まっておらず、安心して眠れるよう支援している。	各部屋に室温・湿度計を設置し、濡れタオルを干すなど乾燥に注意している。暖房器具、照明、寝具の清潔にも気を配っている。寝具類は週一回(汚れた時はその都度)交換している。昼間でも希望があれば自室にて休んでいただいたり就寝時間も決まっておらず、安心して眠れるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示により看護師の管理のもと一人一人の薬の内容や用法・容量について職員が理解し、確実な服薬、状態の変化の観察に努めている。月2回薬剤師による薬のセットと訪問指導を実施している。飲み方や効き目、副作用の指導と相談に対応してもらっている。	医師の指示により看護師の管理のもと一人一人の薬の内容や用法・容量について職員が理解し、確実な服薬、状態の変化の観察に努めている。月3回薬剤師による薬のセットと訪問指導を実施している。飲み方や効き目、副作用の指導と相談に対応してもらっている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居時に生活歴や興味のある事の情報収集し、生活の中から役割や楽しみを見つけられるよう支援し、張り合いのある生活ができるよう努めている。	入居時に生活歴や興味のある事の情報収集し、生活の中から役割や楽しみを見つけられるよう支援し、張り合いのある生活ができるよう努めている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	戸外に行きたいと希望がある時はなるべく意向に沿うように支援している。桜やコスモス等のバスハイクや近所の神社へ行ったりしている。本館の売店に行ったり、散歩したり、時には家族と外出される方もいる。	戸外に行きたいと希望がある時はなるべく意向に沿うように支援している。桜やコスモス等のバスハイクや近所の神社へ行ったりしている。本館の売店に行ったり、散歩したり、時には家族と外出される方もいる。	買い物等の希望があれば、敷地内にある売店やパン屋さんへ一緒に出かけている。天候のよい日は玄関前に常設しているテーブルと椅子でお茶することもある。職員と一緒に洗濯干しや花の水やりをしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭の所持は原則として行っていない。買い物支援等必要時は、ご家族に了解していただき立て替え、後日請求している。	金銭の所持は原則として行っていない。買い物支援等必要時は、ご家族に了解していただき立て替え、後日請求している。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人へ年賀状等出されるか確認し、出される場合は宛名などご家族に協力していただき発送している。また、ご本人さんが希望された時や電話がかかってきた時は、何時でも繋げる体制を取っている。	ご本人へ年賀状等出されるか確認し、出される場合は宛名などご家族に協力していただき発送している。また、ご本人さんが希望された時や電話がかかってきた時は、何時でも繋げる体制を取っている。	/	
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関、廊下、居間、台所、トイレは、動きやすい動線になっており、障害にならないようテーブルを配置している。明るさ、温度(湿度)、臭気、清掃等の環境も整備しており、季節感を感じることが出来るよう貼り絵や飾り物を取り入れ工夫している。	玄関、廊下、居間、台所、トイレは、動きやすい動線になっており、障害にならないようテーブルを配置している。明るさ、温度(湿度)、臭気、清掃等の環境も整備しており、季節感を感じることが出来るよう貼り絵や飾り物を取り入れ工夫している。	居心地の良さを大事にしている。フロアに置かれているソファやテーブルは落ち着けるよう配慮されている。ストレスとなる臭いや音、光、温度など全職員が日常的に注意を払うようこころがけている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間にはテーブルとソファを2ヶ所設置しており、入居者の方が好きな場所を選んで過ごせるように配慮している。1人で座りゆっくり過ごしたり、気の合った入居者さん同士がソファに座り会話ができる空間になっている。	共有空間にはテーブルとソファを2ヶ所設置しており、入居者の方が好きな場所を選んで過ごせるように配慮している。1人で座りゆっくり過ごしたり、気の合った入居者さん同士がソファに座り会話ができる空間になっている。	/	
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご家族に入居前に可能な限り使い慣れたものや馴染みの物等持ってきていただくよう声をかけており、写真やお気に入りの品、思い出の品等安心できる居室作りに努めている。	ご家族に入居前に可能な限り使い慣れたものや馴染みの物等持ってきていただくよう声をかけており、写真やお気に入りの品、思い出の品等安心できる居室作りに努めている。	入居時使い慣れた家具等の持込を提案している。持込の少ない入所者の居室には施設のリサイクル品を使ってその人らしく居心地の良い居室づくりに努めている。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や 「わかること」を活かして、安全かつできる だけ自立した生活が送れるように工夫して いる	園内はバリアフリーで各所に手すり も設置されている。自室やトイレは わかりやすく表示している。ホール にはカレンダーや時計を見やすい位 置に設置し、声をかけ可能な限り自 立した生活ができるように工夫して いる。	園内はバリアフリーで各所に手すり も設置されている。自室やトイレは わかりやすく表示している。ホール にはカレンダーや時計を見やすい位 置に設置し、声をかけ可能な限り自 立した生活ができるように工夫して いる。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○		1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない